



田園風景を眺めながら歩く参加者

沼尻軽便鉄道跡を歩く

いなわしろ軽便ウオーク

第25回いなわしろ軽便ウオーク～懐かしの沼尻軽便鉄道を訪ねて～は10月1日、ＪＲ川桁駅から中ノ沢温泉までの17.5^{キロ}のコースで行われました。開会式後、町の伝統文化の継承活動をしている鈴木清孝さんが沼尻軽便鉄道がモデルとなった「高原列車は行く」をハーモニカで演奏。参加者は合唱した後、号令を受け一斉にスタートし、黄金色に染まった田園風景を楽しみながらコースを歩きました。

東京学芸大の学生が教育支援

学生による教育支援ボランティア事業

本町と東京学芸大学は、「学生による教育支援ボランティア事業」を、9月25日から10月6日までの2週間、長瀬小学校と吾妻小学校で実施しました。5人の学生が、学習のサポートや行事の手伝い、休み時間には一緒に遊ぶなどして児童と触れ合いました。ボランティアとして参加した熊谷奈那さん(2年生)は、「少人数学級ならではの授業やＩＣＴを活用した授業などを実際に体験できて、いい経験になりました」と話しました。



長瀬小6年での授業の様子

財産区の管理運営に協力を

各地区財産区の委員へ辞令交付

町内各地区財産区の委員への辞令交付式は10月3日、町役場で行われ、各地区財産区の委員42人に辞令が交付されました。

式では、二瓶盛一町長が町内6地区の代表者に辞令を手渡し、「歴代の委員や地区の皆さんにより、68年間の長きにわたり、財産区財産が守られてきました。先人が守り続けてきた地区住民の共有財産の適切な管理運営にご尽力ください」とあいさつしました。



二瓶町長から辞令を受ける阿部吉作さん(右)

猪苗代湖畔で音楽や食を満喫

オハラ☆ブレイク '23 秋

オハラ☆ブレイク '23 秋は9月30日から翌朝にかけて、天神浜で開かれ、多くのアーティストが演奏を披露したほか、芸術や食のブースが立ち並び、来場者は音楽や食を満喫しました。今年は「ザ・カンパイミュージック」をテーマに、雑誌「dancyu」編集長の植野広生さんがプロデュースした食事やお酒が提供されました。また、ＮＰＯ法人猪苗代研究所が「猪苗代☆食堂」を出店。本町出身の写真家野口勝宏さんの作品も展示されました。



カレーや唐揚げが好評だった猪苗代☆食堂



ホテルリステル猪苗代をスタートする参加者

秋の猪苗代を楽しむ

猪苗代ノルディックウォーキング大会

第12回猪苗代ノルディックウォーキング大会は10月14日、ホテルリステル猪苗代をスタート・ゴールとするコースで開かれました。猪苗代の素晴らしい風景を楽しみながら健康づくりに親しんでもらうため、猪苗代青年会議所が主催し、県内外から約150人が参加しました。小平潟天満宮などをルートとする13^{キロ}コースと町運動公園などをルートとする7.5^{キロ}コースが設けられ、参加者は、猪苗代の秋を楽しみながら爽やかな汗を流しました。

健闘するも初戦で敗退

市町村対抗県ソフトボール大会

第10回市町村対抗県ソフトボール大会は10月8日から29日にかけて、相馬市の相馬光陽ソフトボール場で開かれ、参加した53チームが熱戦を繰り広げました。猪苗代町チームは、1回戦で伊達市と対戦。1回の裏に1番の佐賀悠選手がヒットで出塁。2番菊地亮選手が送りバントし、相手のエラーの間に1点を先制。しかし、3回表に同点に追いつかれ、5回には2本のホームランで3点、6回には2点を取られ、1対6で敗れました。



1回に先取点に繋がるバントを成功させた菊地選手

高校生ランナーが猪苗代路を力走

県高等学校駅伝競走大会

男子第68回、女子第41回県高等学校駅伝競走大会は10月26日、本町で開かれ、カメリーナをスタート・フィニッシュする男子7区間42.195^{キロ}、女子5区間21.0975^{キロ}で争われました。

男子は学法石川高校が13年連続15度目、女子は学法石川高校が8年連続10度目の優勝を果たしました。男女ともに出場した猪苗代高校は、地元の声援を受け、チーム一丸となってタスキをつなぎ、ゴール目指して力走しました。



男子1区で集団の先頭を走る会津高校3年の高久浩輔選手(猪苗代町)

森山美野子さんが100歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

10月4日に100歳の誕生日を迎えた森山美野子さん(翁島駅前)への賀寿贈呈式は同日、森山さんの自宅で行われました。

森山さんの長寿を祝い、二瓶盛一町長が県からの知事賀寿と会津漆器の木杯、町からの賀寿と敬老祝金、記念品を手渡しました。

森山さんは、「長寿の秘訣は規則正しく生活すること。趣味は編み物です」と話してくれました。森山さん、いつまでもお元気にお過ごしください。



賀寿などを受けた美野子さん(前列左)